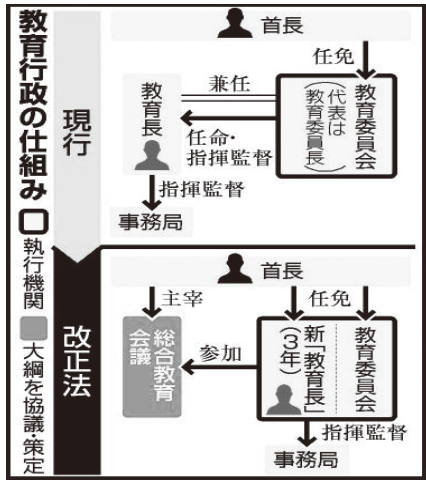




改正地方教育行政法に関する基本的な考え方について



来年4月から始まる新教育委員会制度の評価と首長のリーダーシップをどう考えるか。

町長

諸問題に迅速に対応するためにも、まちづくりは人づくりの観点からも評価できる。

総合教育会議についてどう考え、策定される教育の大綱の方向性は。

町長

子供たちにどのような教育をさせたいかという思いを伝えながら、メンバーの選定も教育委員会と連携をとり進めたい。

ご当地ナンバープレート の活用について

町が管理しているナンバープレートは走る広告塔である。いわゆるご当地ナンバープレートへの導入は、地域振興のPRと地域への関心と愛着の醸成を生むと期待されるが。

税務課長

池田町が管理しているナンバープレートは1,058台。導入自治体では、既存のプレートと選択制を行なっているところも多いが、地域のPRの一役を担っている。そのデザインやPR効果等、総合的に勘案して調査研究していきたい。

町長

増税のこともあるが、導入に当たっては費用対効果を考えながら進めたい。



▲大垣市のご当地ナンバー

マイマイガ対策と街路灯 防犯灯について

今年もマイマイガの大量発生により、町民の生活に多大な影響をもたらした。駆除方法等に関する今後の対策は。

環境課長

8月の広報でマイマイガ防除のご案内を掲載したが、情報の共有のためホームページにてマイマイガ駆除マニュアルを確認できるようにいたしました。

ようやくH23・6議会一般質問で提案した街路灯防犯灯の設備補助率を2分の1に改善する見通しだが、環境への配慮に加え、昨今の自治会の経済状況、マイマイガ対策等を考えて、LED化に向けた補助率をさらに引き上げるべきではないか。全額もしくは4分の3が望ましいが、最低でも3分の2にできないか。

町長

住民の健康対策・環境対策を考えると、3～4年の限定で補助率を3分の2から4分の3の間で決めたい。



▲LEDの街路灯